

しあわせ

vol.506

2013年1月

H a p p i n e s s

謹んで新春のご挨拶を申し上げます



千葉神社(千葉市)

●ひとりで悩んでいませんか?

くらし何でも無料相談

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141 メール info@chiba-lsc.jp



2013年 年頭挨拶

新たな労福協活動に向けて 大いなる一歩を踏み出そう

(社)千葉県労働者福祉協議会 会長 黒河 悟

年頭にあたり、千葉県労働者福祉協議会を代表してご挨拶申し上げます。まずは、引き続き本年も東日本大震災への復興・再生への支援を全国の間と取り組むことを、千葉県労働者福祉協議会に集う皆さんと確認しあいたいと思います。

さて、40年以上に亘って千葉県の労働運動、労働者福祉運動の活動の拠点となって参りました千葉県労働者福祉センターは、老朽化・耐震化への対応が喫緊の課題でしたが、昨年の定期総会で最終的に建て替えを断念し、会館事業は2013年3月末を以て終息することとし、総会以降会館閉館に伴う諸課題の実施に取り組んで参りました。センターに居していただいていた連合千葉をはじめとした労働組合や諸団体の皆さん

も、それぞれ次の事務所への転居もほぼ完了し、また、昨年末にはセンターの運営に関してお世話になりました会員をはじめとした皆さまへの「感謝の集い」も開催したところで、当協議会にとっては現在借用している土地を県に返却するための建物の解体工事を滞りなく進めることが最大の課題となっております。本年まずは、会館事業終息への対応を最後までしっかりと進めて参りたいと思っております。ご支援をよろしくお願いいたします。

併せて会館事業の終息への対応と平行して、今後の千葉県労働者福祉協議会の組織財政の在り方について委員会を設け検討を進めておりますが、昨年の総会ではあらためて2005年に確認した「基本理念5

項目」を堅持した上で、労働者福祉事業は勿論のことライフサポート事業やNPOとの連携などの取り組みを後退させずに活動して行くことを確認しております。そのためにはどのようにしていけば良いのか中央労金、全労済、生協連、連合千葉などの会員団体の皆さんと一層の連携を図りながら取り組みを進めて参ります。

昨年末の総選挙で自民党が勝利し、自公連立政権が復活しました。千葉県労働者福祉協議会は、この数年間とりわけ小泉政権下で進んだ格差や貧困に対して、「共助」「助け合い、支え合い」を合い言葉にその解消のための取り組みを関係団体と協力の下進めて来ましたが、この3年間の民主党政権では、格差や貧困を解消するための政策として、生活保

護の母子加算の復活や最低賃金の全国平均1000円をめざす政労使合意、パーソナルサポート事業の展開、そして労働法の改正や制度の適用拡大などが進められ、私たちの取り組みの後押しがされてきたと言えます。

しかし、政権が替わり後戻りの施策が展開されることが危惧されますし、加えて先の総選挙で躍進した政党の中には自民党以上に「自助」を強調する政党もあり、格差や貧困がますます広がりかねません。私たちは、多くの福祉団体やNPOとも協力し、これまで以上に政府や行政に格差や貧困の解消に向けた政策の実行を求めて行かなくてはなりません。昨年は「国際協同組合年」ということで、協同組合への理解や参加を訴える様々な取り組みを進めて参りましたが、その経験を踏まえて自らの力で様々な共助の活動を強化して行くことが極めて大切です。新たな労福協活動に向けた大きな一歩を踏み出すことの出来る1年となるよう全力で頑張ります。本年も宜しくお願いたします。



「安心と信頼」を再認識し、

労金運動を推進する

中央労働金庫千葉県本部
本部長 小泉 津都武

新年のご挨拶を申し上げます。

今年も、新春のスタートにふさわしい「初日の出」が拝顔でき、皆様も輝かしい年明けに感動し、平穩な年であることを祈願したことと思います。

さて、長年にわたり勤労者の皆様はもとより、県民・市民の皆さんに

慕われてきた労働会館としての「福祉センター」が三月末に閉館するは

こびとなりました。半世紀近くにわたる会館の歴史が終焉し寂しさがつりませんが、これにより、福祉センターを拠点とする「千葉南支店」は、労働会館とともに歩んできた千葉南支店の活動を千葉支店へ継承・再編

し、更なる『労金運動』の発展を目指すことになりました。

この間、お世話になった会員の皆様をはじめ、組合員・お客様に改めて感謝を申し上げます、今後とも労働金庫へのご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

ところで、新春を迎えても、世界経済の減速とあいまって、国内においても、未だに景気回復への兆しは見えず、年度末決算を控え、厳しい経営環境と雇用情勢が続いています。このような国内情勢の中で、福祉金融機関としての『ろうきん』の役

割と責任を痛切に感じています。今日の成熟した日本社会では、他の金融機関が労金に類似した商品とサービスを提供している現状にある中で、まさに、勤労者・生活者のために『安心と信頼』を享受できる労金でなければ、労金を創設した意義が失われることになりかねません。お互いが助け合い、力を合わせることで誕生した「ろうきん」です。このことをもう一度再認識し、皆さんと一緒に『労金運動』を推進したいと思えます。本年もどうぞよろしく。



労済運動の原点に立ち返り

更なる運動の前進に向けて

全労済千葉県本部
本部長 細根 洋

新年明けましておめでとございます。旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございます。

昨年東日本大震災により被災された組合員の皆様方へ対応をしてまいりました。おかげさまでお問い合わせの件数も減少してまいりました。今後も引き続きの対応をさせていただきます。

できます。昨年は旭市復興支援活動や国際協同組合年の取組みなど、積極的に取り組んでまいりました。またこれを契機に保障の生協とし、運動の原点に立ち返り、併せて協同組合の社会的役割を担う運動を進めるため、協力団体や地域の組合員の皆さんと共に運動を進めてきました。

本年も引き続き全労済の理念に基づき運動を進めていきます。今年2月15日、千葉労済は創立55年目を迎えます。これまで多くの皆様からいただきました。ご支援・ご協力に感謝申し上げます。

さて、すでにご承知のように千葉県労働者福祉センターが3月末で閉館になります。1970年10月にオープンし、これまで43年間労働者福祉事業の中心として、また労働運動の拠点のひとつとして、様々な活動を見守ってきました。諸先輩が、苦労の上創り上げた会館でしたが、

老朽化には勝てず、残念ながら閉館せざる得ない事になりました。会館が出来た1970年は大阪で万博が開催された年であり、まさに高度経済成長の真只中でした。その後の政治、経済の大きなうねりや変化の中、風雪に耐えてきました。あらためてこれまでのご愛顧に御礼申し上げます。最後になりますが、本年も引き続き労済運動・共済事業へのご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



復興支援をはじめ組合員の

期待に応える生協活動を

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 田井修司

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に千葉県の生協に寄せられましたご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。また、県内の生協運動にも大きな役割を果たした労働者福祉センターが閉館の運

びとなりましたが、これまでの関係者の皆様のご努力とご苦勞に改めて感謝申し上げます。
昨年は、東日本大震災の復興支援を特別課題として位置づけ、県内では旭市の被災者への支援に、東北の

被災者へは全国の生協と共同で様々な支援活動に取り組んでまいりました。本年も引き続き、県内外での復興支援、とりわけ原発事故の影響が続く福島への支援活動を継続していきます。また、昨年の「国際協同組合年」では、千葉県労福協の皆様とともに、今日における協同組合の価値や役割について広くアピールする努力を重ねてきました。この課題についても更に進めていきたいと考えています。

生協の基本であるふだんの暮らしを応援し豊かにする日常的な事業活動、消費者問題・食の安全・環境・エネルギーなどの社会的な課題についても、多くの組合員の期待に応えて生協らしい取り組みを進めていく所存です。こうした課題に、役職員、組合員が一体となって取り組んでいく決意を申し上げます、関係各位の引き続きご支援ご協力を心からお願ひして新年の挨拶とさせていただきます。



全ての働く者の処遇改善と 日本経済の回復に向け頑張る

連合千葉
会長 黒河 悟

新年にあたりご挨拶申し上げます。皆さまにとって、本年が良い年でありますことを心よりご祈念致します。さて、昨年末の総選挙で3年3か月の民主党政権は幕を閉じました。民主党政権がこの間、政権運営の未熟さや党内ガバナンスの問題で国民の厳しい批判に合い、その結果このような審判を受けたわけですが、この3年余の政権は、それまでのいわ

ば統治者・供給側の視点を重視した政策から、勤労者・生活者の視点に立った政策を数多く手がけたのは事実です。
特に5年間の小泉政権の下で進められた雇用・労働分野への規制緩和で社会に格差と貧困が広がり、民主党政権はこの格差や貧困を解消するために雇用保険の適用拡大を行い、新たに250万人の人が適用を受け

られるようにしましたし、また失業保険と生活保護の隙間の制度、第2のセーフティネットとして、求職者支援制度の恒久化をはかりました。
一方、難産の末ですが、労働者保護法制も昨年成立しました。「労働者派遣法」、「(有期雇用に関わる)労働契約法」、「高齢者雇用安定法」それぞれの改正法です。まさに、約20年に亘って進められてきた雇用・労働分野の規制緩和による使用者・経営者による使い勝手の良い働かせ方に「漸く歯止めが掛かったのです。連合は、この労働者保護法制の職場、現場への定着の取り組みに今年は全力を尽くして行きます。

さて、いよいよ2013春季生活闘争も始まりますが、今時闘争の最大のテーマは「傷んだ雇用と労働条件」の復元によって、日本経済のデフレスパイラルの危機を回避することです。1997年をピークに15年間下がり続けてきた賃金低下に歯止めをかけ、賃金を抑え、非正規労働者を増やすことで利益をあげるという「配分の歪み」の構造転換無しに日本経済の回復はありません。
連合千葉は、全ての働く者の処遇改善と日本経済の回復のため本年も全力で頑張ります。



丸山副会長による乾杯



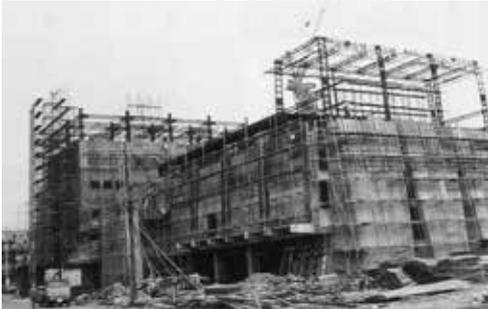
幸いなことに人災になることなく運営できたことは、建設時の多大なご協力、改修・補修時の適切な施工、日々の設備維持や気持ちよく利用されるように毎日の清掃等、多くの企業とそこで働く皆さんの力があつたからこそと、次の団体に感謝状を贈呈させていただきます。

〈贈呈団体〉

- ① 京成電鉄株式会社様
- ② 有限会社きせい様
- ③ 千葉ビル代行株式会社様
- ④ 株式会社 ビーワンコーポレーション様
- ⑤ 株式会社メロウリンク様
- ⑥ 株式会社 NTTファシリティーズ様



丸山副会長による乾杯で懇談がスタート、あちこちのテーブルで懐かしく賑やかな会話が飛び交っていました。中には、〇十年振りという方も居られ、「生きていたか？お互いにな」など少し過激な言葉も！



歓談を楽しんでいた。その後、「千葉県労働者福祉センターの歴史を振り返り」と題して作成したスライドを若上職員のナレーションとともに大スクリーンに映写。建設に向けた取り組みから始まり、地鎮祭・建設工事中・落成式の風景、新聞報道・パンフレット、周年行事の様子、労働者福祉センターと労協の統合記念式典、次々と映しだされる映像に、懐かしさに加えて熱い想いも蘇ったのではないだろうか。



第2代山崎理事長挨拶



歴代理事長・会長のご紹介



続いて、歴代理事長・会長をご紹介し、代表して2代目の山崎元理事長よりご挨拶をいただきました。会館運営の困難さや役員時代のご苦労など歯に衣着せぬご挨拶に、会場の皆さんからは大きな爆笑が何度もおこりました。



お見送り

改めて、これまで永きに亘り千葉県労働者福祉センター運営に対し、ご尽力いただきました全員の皆様に感謝申し上げます。本当に有難うございました。



細根副会長閉会挨拶

千葉県労働者福祉センター 入居団体移転先

千葉県労働者福祉センターの閉館に伴い、
入居団体が次の場所へ転居しました。

連合千葉

〒260-0013 千葉市中央区中央4丁目13番10号
千葉県教育会館 新館6階
TEL 043-201-2022
FAX 043-201-2023

連合千葉・中央地協

〒260-0013 千葉市中央区中央4丁目12番12号
中央土地建物ビル 2階
TEL 043-301-5377
FAX 043-301-5387

自治労千葉県本部

〒260-0013 千葉市中央区中央4丁目13番10号
千葉県教育会館 新館6階
TEL 043-201-1300
FAX 043-201-1301

千葉県地方自治研究センター

〒260-0013 千葉市中央区中央4丁目13番10号
千葉県教育会館 別館3階
TEL 043-225-0020
FAX 043-225-0021

UAゼンセン千葉県支部

〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目24番14号
シースケープ千葉みなと 3階
TEL 043-247-3226
FAX 043-247-3839

千葉県友愛連絡会

〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目24番14号
シースケープ千葉みなと 3階
TEL 043-247-5505

交通労連・関東地方総支部 千葉県交通運輸労組

〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目24番14号
シースケープ千葉みなと 3階
TEL 043-243-2195
FAX 043-238-4038

JAM東京千葉「千葉県連事務所」

〒260-0013 千葉市中央区中央4丁目13番10号
千葉県教育会館 本館4階
TEL 043-202-3560
FAX 043-202-3561

(社)千葉県労働者福祉協議会

〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目24番14号
シースケープ千葉みなと 3階
TEL 043-241-6681
FAX 043-241-6683

※3月1日から業務開始予定。





全労済千葉県本部

(千葉県勤労者共済生活協同組合)

千葉市中央区弁天1-17-1

TEL:043-287-8126

平日 / 9:00~17:00

土曜 / 10:00~16:00 (日・祝日はのぞく)

新年のご挨拶

日頃の全労済の活動に

ご協力いただき

ありがとうございます。

本年もよろしく願い申し上げます。



全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしを目指しています。出資金をお支払い
いただいて組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

あけまして
おめでとうございます。

今年もよろしくお祝い申し上げます。
二〇一三年 元日

ROK!N
中央ろうきんにROK!Nがある。

中央ろうきんには、あなたのためのOK!がある。

ROK!N

毎月第3土曜日は

<ろうきん>相談会の日

2013年
開催日

1月 19日 2月 16日 3月 16日

【開催時間】 10:00 ~ 17:00

※一部未開催の店舗がございます。
※店舗によって相談会の開催時間異なる場合がございます。
※事前のご予約がないお客様につきましては、お待ちいただくか、
ご相談時間を別途ご調整させていただく場合がございますので、
予めご了承ください。

ホームページ予約専用URL <http://chuo.rokin.com/link/soudankai>

相談会にご来場いただけない方もホームページから

住宅ローン等の借入審査申込 好評受付中
お申し込み・お申し込みの受付
ホームページでご確認いただけます。
<http://chuo.rokin.com>

詳しいお問い合わせ・相談は
＜中央ろうきん＞千葉県本部 TEL 043-251-5162